

研究主題「児童に地域社会への誇りと愛情をもたせるための指導の工夫」

東京都教職員研修センター研修部教育開発課
港区立芝浦小学校 教諭 大須賀慎一

I 研究のねらい

平成10年7月の教育課程審議会の答申では、小学校社会科における改善の具体的事項として、各学校で地域に密着した学習が一層弾力的に展開できるようにし、児童が地域社会への理解と愛情を一層深めるようにすることを重視している。その背景には、児童と地域とのかかわりの希薄化があり、学校においてその課題を解決するためには、地域の人や施設等とのかかわりを通して、児童が実感を伴った学びを得られるよう、意図的かつ効果的に学習を進めていく必要があると考える。

そこで、本研究では、地域の社会的事象を取り上げた学習を展開していく際に、児童に地域社会の様子を知識として獲得させるだけでなく、地域社会に対して誇りと愛情をもたせ、自ら働きかけていく態度を養うことができるような指導の工夫を明らかにすることをねらいとした。

〈研究仮説〉

地域のために働く人や地域の施設等とのかかわりを学習指導計画に適切に位置付け、地域と自己とのかかわりの深まりが認識できるような指導と評価の工夫を行えば、児童は、地域に対する思いや願いをもち、地域社会に対して自ら働きかける態度を養うことができる。

II 研究の内容と方法

1 研究の方法

(1) 基礎研究

地域学習に関する先行研究の分析や文献研究を行い、学習過程の段階ごとに地域にかかわる姿を明らかにし、地域と自己とのかかわりの段階的な深まりについて明らかにした。(【補助資料1】参照)

(2) 検証授業

所属校対象学級(第4学年2組児童数26名)において、平成18年12月5日～平成19年1月19日まで、小単元「火災を防ぐ」(全9時間)の検証授業を行った。

2 研究の内容

地域と自己とのかかわりの深まりが認識できるような指導と評価の工夫について次の4点について研究に取り組んだ。

(1) 地域の特色を生かした学習活動

地域の教材分析において、防災上の課題を明らかにした。そして、地域の課題を明確にとらえることができるような写真や映像資料を導入時に示し、その解決のために働く人々の工夫や努力を学ぶことを意識付けた。

(2) 地域のために働く人とかかわりを通じた学習活動

児童の問題解決の過程において、地域のために働く人とかかわる場面を設定し、働く人の思いや願いに触れ、自ら地域社会にかかわっていかうとする意欲を引き出した。

(3) 地域に対して自ら働きかける態度を養うための学習活動

地域に対して自分たちにできることを提案したり、実行したりできる場面を設定することで、地域と共によりよく生きようとするための態度を養うことにつなげた。

(4) 地域と自己とのかかわりの深まりが認識できる評価の工夫

地域と自己とのかかわりの深まりを教師と児童が相互に認識できるような教材として「振り返り学習シート」を開発した。この評価シートの活用により、児童一人一人の学習状況を把握し、個に応じて地域と自己とのかかわりの深まりを認識させるための指導に役立つようにした。

Ⅲ 研究の結果と考察

1 基礎研究から

児童に地域社会への誇りと愛情をもたせるために、学習過程の段階ごとに地域にかかわる児童の姿を明らかにし、具体的な学習活動を位置付けた学習指導計画を作成した。

2 検証授業から

検証授業を通して、地域と自己とのかかわりの深まりが認識できる指導と評価の工夫として次の点が明らかになった。

(1) 地域の特色を生かし、地域に対して自らの問いや疑問をもたせる

学習過程のつかむ段階において、地域で火災が起きたらどうなるのかを予想させるために、地域で起きた火災の映像や写真、被害状況等を提示した。多くの児童は、火災の恐ろしさを実感するとともに、地域の防災上の課題である「高層マンションや運河による消火活動の困難さ」にも気づき、「芝浦で火事が起きたら大変なことになってしまう。」と地域の火災への取組みに対する危機感をもった。【補助資料2】参照

そこで、火災の恐ろしさを実感している児童に対して、地域で働く消防士からの「地域を火災から守るために自信をもって仕事をしています。」というメッセージを提示したところ、「消防士の自信とは何だろう。地域を火災から守るための消防士の仕事のひみつを探ろう。」という学習問題を設定することができた。【補助資料2】参照

以上のように、地域の具体的な課題を写真や映像等を活用して提示することは、地域に対しての気づきや問いをもたせるために効果的であることが分かった。また、地域で働く人の言葉を提示することで、働く人の工夫や努力に対する関心が高まり、地域に対する誇りと愛情をもつきっかけとなることが分かった。

(2) 地域のために働く人とかかわりを通して、地域に対する思いや願いをもたせる

地域のために働く人とかかわりとして、地域の消防署見学活動を設定した。消防署見学では、児童の問いや疑問に対する聞き取り調査だけでなく、消防車や装備を実際に見せてもらったり、救助訓練の様子を実演してもらったりした。児童は聞き取り調査とともに、実物に触れることで、地域を火災から守るために努力する消防署の役割を知ることができた。【補助資料2】参照

救助訓練の様子から「芝浦には心強い消防士さんがいる。」「消防士の自信は訓練を精一杯取り組んでいるから。」等、児童が地域で働く人に対して共感したり、感動したりしている児童の姿が多く見られた。【補助資料2】参照

また、地域のために働く人とかかわりとして、地域の消防団の人から話を聞く場を設定した。消防団の「わたしたちは、地域の命を守るために仕事をしています。」というメッセージから、児童は「地域の人も、一緒に地域を守っている。」「消防士や消防団の人が命がけで地域を守ってくれるので安心した。」と反応し、地域のために働く人から、地域に対しての共感をいただいていた。【補助資料2】参照

以上のことから、地域のために働く人と繰り返しかわる活動は、地域で働く人に対する共感や感動を深め、地域に対する誇りや愛情をもたせることに有効であることが分かった。

(3) 地域にかかわっていきこうとする意思決定の場を設定し、地域に働きかける態度を養う

地域と自己とのかかわりの深まりを認識させるために、学習したことを振り返り、自分なりの意思決定をさせる活動を取り入れた。地域を守るために働く人がいることに共感した児童に

対して、「これだけでよいのだろうか」と揺さぶりをかける場面を設定した。このことにより多くの児童は、「地域で働く人のことを知ってもらいたい。」「自分たちにできることを考えたい。」と自分たちにできる防災活動のプランを考えることができた。

児童は、自分たちにできることとして「芝浦火災0プラン」を計画し、地域の人に提案することができた。その内容は【表1】の通りである。自ら考えたことを地域に提案する活動を設定したことは、働く人々への共感と感動をきっかけに、地域の中における自分の役割を考え、地域と共によりよく生きようとする態度を養うために有効であることが分かった。

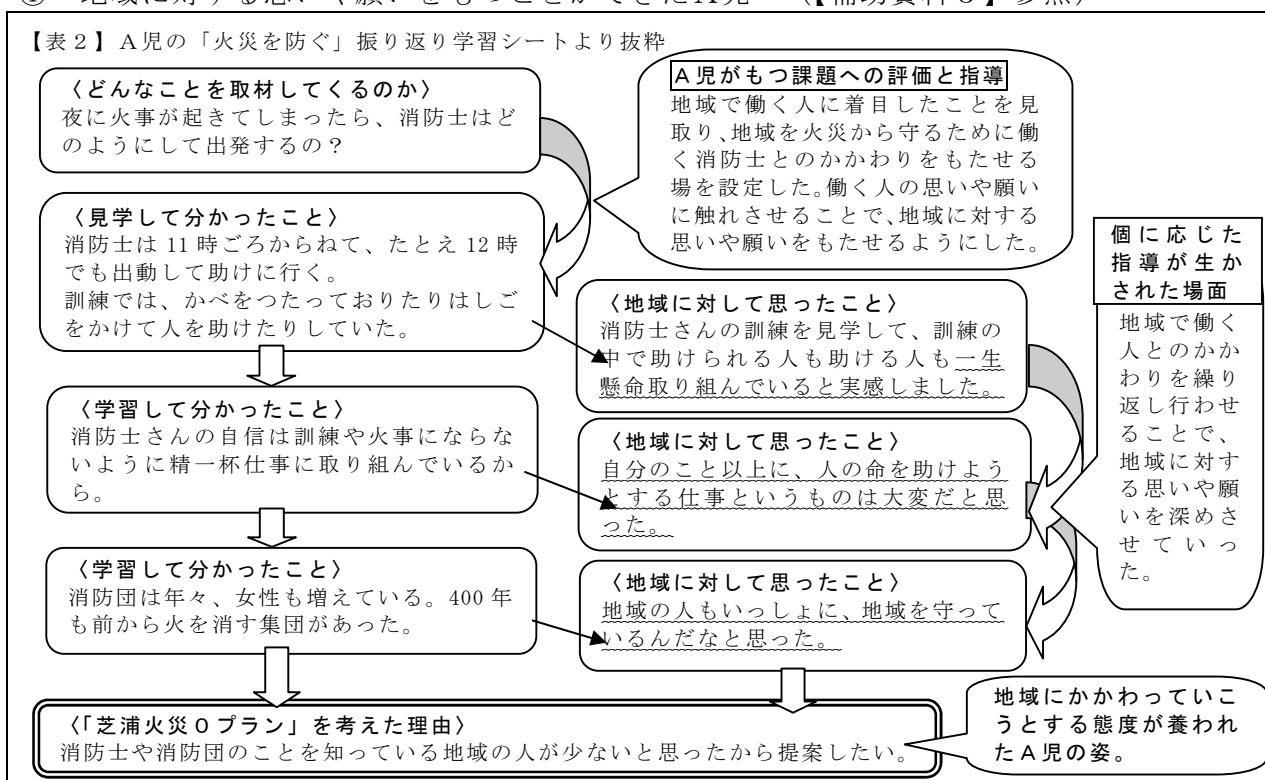
【表1】「芝浦火災0プラン」の内容

芝浦火災0プランの内容	人
「火事にならないための工夫」パンフレットの作成	20
「火事を防ごう」ポスターの作成	4
「火災ガイドブック」の作成	2

単元終了後、「芝浦火災0プラン」のきっかけとなった学習活動を調査すると「消防士・消防団との出会い」を挙げる児童が多く、働く人と直接かかわる学習活動は、地域に自ら働きかける態度を養うために有効であることが分かった。

(4) 地域と自己とのかかわりの深まりが認識できる評価の工夫

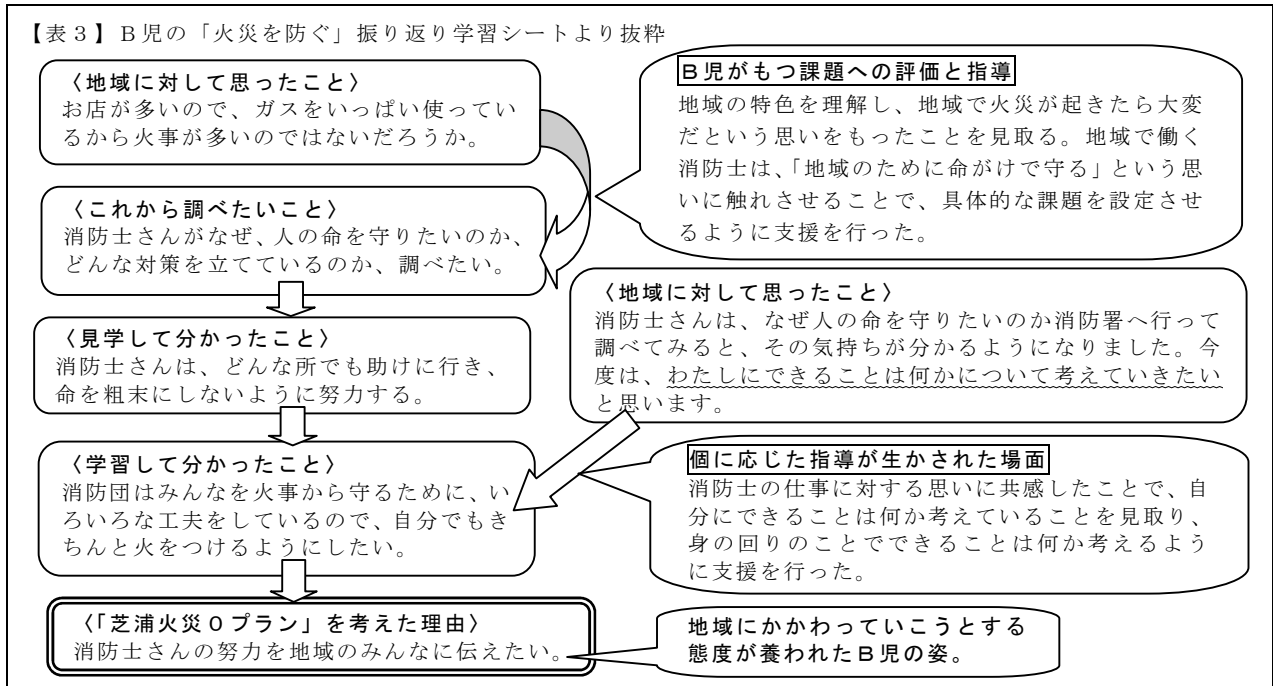
① 地域に対する思いや願いをもつことができたA児 (【補助資料3】参照)



本単元を学習する前に、地域に対して「人がいっぱい、空気が汚れている」というイメージをもっていたA児は、つかむ段階で「夜に火事が起きてしまったら、消防士はどのようにして出発するの？」と課題を設定した。振り返り学習シートで、A児の学習状況を把握し、A児に対して「次時の消防署見学では、消防士の人に直接話を聞き、訓練の様子から地域を火災から守る工夫について考えてみよう。」と見学計画における視点を明確にした。消防署見学後、地域に対して思ったこととして「消防士さんの訓練を見学して、助けられる人も、助ける人も一生懸命だと実感しました。」と働く人に対して共感していた。また、地域で働く人に対する思いを積み重ねさせることで、自ら地域社会へ働きかけようとする記述が見られるようになった。

A児のもつ地域に対するイメージを事前に把握し、振り返り学習シートを活用して地域で働く人に着目したことを見取り、個に応じた指導と評価を行ったことで、地域に対する思いや願いをもたせることができた。また、振り返り学習シートに地域に対する思いを繰り返し記述していくことで、自らの地域に対する思いが深まっていくことを認識することができた。

② 地域に自ら働きかけようとする意欲をもつことができたB児 (【補助資料4】参照)



本単元を学習する前に、B児は地域に対して「マンション、ビル、店」というイメージをもち、地域の「もの」に対する関心が高かった。ところが、地域で働く消防士の思いに触れさせたところ「なぜ、人の命を守りたいのだろうか。」という疑問をもち、関心が「もの」から「人」へと変化した。B児は消防署見学において、聞き取りや見学を通して、人の命を守るために努力する消防士の姿勢に共感し、「自分にはできることは何か。」を考えようとしていた。

個に応じた指導においては、B児が「人」と触れることで誇りと愛情をもちつつあることを評価し、元々「もの」への関心が高かったことを考慮して、身近な視点から「自分にはできること」を考えていくように助言した。その後B児は、地域や自宅のマンションの消防設備を調査し、「火事をなくそう！ 自分にはできること！」と題したプランを提案し、「火災を防ごうポスター」を作成した。

B児に対しては、自ら地域に働きかけようとする意識をもったことを教師が見取り、具体的にできることは何かを考えさせる支援を行ったことで、自らの防災プランを意欲的に提案することができた。こうした、地域と自己とのかかわりの深まりを認識させる支援を繰り返していくことで、児童が自ら地域に働きかける態度を養うことができた。

3 研究仮説に対しての考察

- (1) 地域の特色を生かした学習活動を設定することは、児童に、地域の様々な社会的事象に対して関心をもたせ、地域と自己とのかかわりから気づきや問いをもたせることに有効である。
- (2) 地域のために働く人や、ひたむきに生きる人とのかかわりをもたせ、その人の生き方や仕事に対する思い等に触れることは、児童の心に共感や感動を生み出し、地域に対する誇りと愛情をもたせることに有効である。
- (3) 地域に自ら働きかける意思決定の場を設定することは、自ら地域の一員としての自覚をもつことにつながる。

IV 今後の課題

- 1 地域に対する誇りと愛情をもつ児童の姿を位置付けた年間指導計画の作成
- 2 地域で働く人やひたむきに生きる人とのかかわりにおける視点の明確化
- 3 地域へ働きかける態度を養うための意思決定における学習活動の在り方

補助資料 1

地域社会への誇りと愛情をもたせるための学習過程の段階における地域にかかわる児童の姿

学習過程	具体的な学習活動	地域にかかわる児童の姿	
つかむ	<ul style="list-style-type: none"> ・実物に触れる ・写真や映像を見る ・表やグラフを読み取る ・地域の人と触れ合う ・体験活動を行う ・生活経験や既習の学習を想起する ・地域の特色から課題をとらえる ・課題に対して予想する ・友達の予想と比較して練り上げる 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の様々な社会的事象に対して関心をもち、気付きや問いをもとうとしている。 ・生活経験や既習事項から、新たな事実と比較しようとしている。 ・地域の人と触れ合ったり、地域にある施設・自然等で活動したりしようとしている。 ・地域の様々な社会的事象に対して、自らの問いや疑問をもち、課題を設定しようとしている。 ・地域の様々な社会的事象に対して、自らの問いや疑問を解決するために、自分なりの予想と根拠をもとうとしている。 ・自分の予想と友達の予想を比較しながら、課題をより具体的にしようとしている。 	<p>地域と自己とのかかわりの段階的な深まり</p> <p>↓</p> <p>かかわる</p> <p>↓</p> <p>気付く</p> <p>↓</p> <p>思いや願い</p> <p>↓</p> <p>働きかける</p>
調べる	<ul style="list-style-type: none"> ・見学活動を行う ・調査・取材活動を行う ・人とかかわる ・体験活動を行う ・資料を読み取る 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のために働いている人がいることや、地域のためにひたむきに生きている人がいることを知ろうとしている。 ・地域にある施設の場所や目的、自然の様子、環境の状況等を知ろうとしている。 ・地域にある出来事や歴史、産業の様子を知ろうとしている。 	
考える	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を基にした情報を整理加工する ・友達との考えを比較する ・自分の生活とのかかわりから考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のために働いている人や、ひたむきに生きている人に対して共感している。 ・地域の歴史や文化、地域にある自然や施設、環境等の意味や価値について考えようとしている。 ・自分と地域とのかかわりについて考えようとしている。 	
まとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの意思決定をする ・自分にできることを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のために働いている人や、ひたむきに生きている人に対して思いや願いをもっている。 ・地域の歴史や文化を大切に守り伝えていこうという思いや願いをもっている。 ・よりよい地域となるよう、地域の発展を願っている。 	
広げる	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中で自分の役割を考える ・考えたことを実行する ・自分の活動を振り返り評価する ・地域の人と共に活動する 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に対して自分たちにできることを考えて実行したり、これからの地域に対する考え等を表したりしている。 ・地域の人と共に活動し、地域に貢献しようとしている。 	

補助資料② 地域社会への誇りと愛情をもつ具体的な児童の姿を位置付けた学習活動の有効性についての分析表 ※ゴシックは検証後の分析と考察

学習過程	具体的な学習活動	検証授業で行った学習活動	有効であった視点の分析	地域にかかわる具体的な児童の姿	検証された具体的な児童の姿
つかむ	実物に触れる	消防車や消防道具に触れる		地域の様々な社会的事象に対して関心をもち、気付きや問いをもととしている。	地域の特色「高層ビルが多い」「人が多く集まる」「運河がある」を踏まえて地域で火災が起きたらどんな大変なことが起こるのか疑問をもつ。(26人/26人)
	写真や映像を見る	火災の映像、地域の様子や火災の写真を見る		生活経験や既習事項から、新たな事実と比較しようとしている。	地域では、火事が少ないことに気付くが、高層ビルが火事になると大変なことになってしまうという思いをもつ。(24人/26人)
	表やグラフを読み取る	地域の火災件数のグラフを読み取る		地域の人と触れ合ったり、地域にある施設・自然等で活動したりしようとしている。	地域の火災体験者の話を聞く活動や、消火器訓練、煙ハウス体験等の活動を行い、火災は恐ろしいという思いをもたせることで、切実感ある課題をつかむことができる と考える。
	地域の人と触れ合う	地域の火災体験の話を聞く		地域の様々な社会的事象に対して、自らの問いや疑問をもち、課題を設定しようとしている。	火災の恐ろしさを実感し、恐ろしい火災に対して自信をもって仕事に取り組む消防士のひみつについて課題を設定する。(26人/26人)
	体験活動を行う	消火器訓練・煙ハウス体験活動を行う		地域の様々な社会的事象に対して、自らの問いや疑問を解決するために、自分なりの予想と根拠をもととしている。	地域の様子を想起し、地域で火災が起きたらどのような消火活動が行われるのか、地域の特色を踏まえて予想する。(25人/26人)
	生活経験や既習の学習を想起する	地域で火災が起きたらどのようなことが大変なのか話し合う		自分の予想と友達の予想を比較しながら、課題をより具体的にしようとしている。	消防士の自信とは何か、学級で話し合い、自分の知りたいことをノートに書き出し、調べなければ解決できないことを課題として設定する。(25人/26人)
	地域の特色から課題をとらえる	地域で火災が起きたら、どのような消火活動が行われるのか予想する			
	課題に対して予想する	消防士の自信とは何か予想する			
	友達の予想と比較して練り上げる	カード分類法話し合い			
	新たな事実を提示する	高層ビルの火災の事例から予想する			
調べて考える	見学活動を行う	消防署見学	地域のために働いている人がいることや、地域のためにひたむきに生きている人がいることを知ろうとしている。	地域を火災から守るために、仕事に取り組む消防署の役割を知る。(26人/26人) 地域を火災から守るために、消防団の役割を知る。(25人/25人)	
	調査・取材活動を行う	消防署への取材 地域の消防設備の調査 学校内の消防設備の調査	地域にある出来事や歴史、産業の様子を知ろうとしている。	地域の火災の原因や件数から、芝浦の地域は東京都の中で、火災が起こっている件数が少ない事実を理解する。(26人/26人)	
	人とかかわる	消防士・副校長・地域の人 地域の消防団長等とかかわる	地域にある施設の場所や目的、自然の様子、環境の状況等を知ろうとしている。	地域にある消防署の役割を理解する。(25人/26人) 地域の消防設備を調査し、地域を火災から守る工夫について考える。(24人/26人) 学校内にある消防設備の役割を理解する。(26人/26人)	
	体験活動を行う	消火器訓練、煙ハウス体験 防災訓練等	地域のために働いている人や、ひたむきに生きている人に対して共感している。	地域を火災から守るために仕事に取り組む消防士の姿に共感したり、感動したりしている。(24人/26人) 地域を火災から守るために働く消防団の人の思いに共感している。(25人/25人)	
	資料を読み取る	課題追究	地域の歴史や文化、地域にある自然や施設、環境等の意味や価値について考えようとしている。	地域を火災から守るために、消防署や消防団、地域の消防設備の意味や価値について考えている。(23人/26人)	
	資料を基にした情報を整理・加工する	他の資料や事例との比較 情報交換	自分と地域とのかかわりについて考えようとしている。	地域を火災から守るために、自分にできることは何か考える。(26人/26人)	
	友達との考えを比較する	見学して分かったことをカード分類法による整理			
	自分の生活とのかかわりから考える	自分にもできる防災活動			
まとめる	自分なりの意思決定をする	芝浦火災0プランの内容を考え決定する	地域のために働いている人や、ひたむきに生きている人に対して思いや願いをもっている。	地域を火災から守るために働く消防署や消防団の人に対して共感したり感動したりしたことを多くの人に伝えようとしている。(26人/26人)	
	自分にできることを考える	芝浦火災0プランの提案	地域の歴史や文化を大切に守り伝えていこうという思いや願いをもっている。		
	学習したことを振り返り、自分なりの方法でまとめる	新聞づくり 芝浦火災0プランの作品づくり	よりよい地域となるよう、地域の発展を願っている。	地域を火災から守るために、自分たちにできる防災活動のプランを考える。(26人/26人)	
広げる	地域の中で自分の役割を考える	芝浦火災0プランの提案	地域に対して自分たちにできることを考えて実行したり、これからの地域に対する考え等を表したりしている。	芝浦火災0プランを考え、消防署や地域の人に提案する。(26人/26人) 芝浦火災0プランを地域に伝え、地域を火災から守ろうという思いをもって生活している。	
	考えたことを実行する	芝浦火災0プランの実行	地域の人と共に活動し、地域に貢献しようとしている。	地域の防災活動へ参加や、防災訓練への参加等が考えられる。	
	自分の活動を振り返り評価する	地域と自己の深まりの認識に対する自己評価			
	地域の人と共に活動する	地域の防災活動への参加			

補助資料3 「火災を防ぐ」児童の学びの姿分析表 観察対象児番号4

学習過程	○主な学習活動（数字は時数） ◇具体的な指導の工夫	・児童の学びの姿	□教師による評価	☆次時へつなげる支援
事前	○「地域」と聞いて想像できることを書く。	・人がいっぱい 学校 マンション 駅 空気が汚れている	□地域に対して、どちらかと言え ばマイナスイメージをもっている。	☆地域の「人、もの、こと」とのかかわりを通して、 <u>地域のよさに気付かせ、地域に対する愛着をもたせたい。</u>
つかむ	①芝浦の地域で火災が起きたら、誰がどのようにして、人々の安全を守るのか予想を立てる。 ◇火災時の 映像資料や写真資料を提示 し、火災に対する恐ろしさを実感させる。 ◇地域の特色が分かる 写真資料を提示 し、地域で火災が起きた時、どのような消火活動が行われるのか 予想させる 。	・駅前が火事になったら、消防士がホースで消す。 ・ビルが火事になったら、消防車のはしごを使って高い所に行き消す。 ・運河が火事になったら、近くの人がバケツリレーで消す。	□地域の特色が分かる写真を提示したことで、駅、高層ビル、運河で火事が起きたら、どのような大変なことがあるのか予想することができていた。 地域の特色を踏まえて予想させたことで、運河や高層ビルで火事が起こったらどうなるのか疑問をもっている。	☆地域の特色が分かる写真をじっくりと見て、考えることができていますので、具体的な課題を設定できるように支援しています。
	②自分の知りたいことをノートに書き、調べていくことを話し合い、学習問題を設定する。 ◇地域で火災がおきたら大変だという思いを改めて実感させるために、高層ビルで起こった 火災の事例を提示 する。 ◇自分の知りたいことをカードに書かせ、 カード分類法で課題をカテゴリー化 し、学習問題を設定する。	・交通の不便な所では、どうやって火を消すのか。 ・水が届かない所が火事になったら、どうするのか。 ・火の所に行く方法は。	□運河で火事が起きたら、どのように消火活動を行うのか、疑問をもち、消防車の行けない所や、水が届かない所では、どうするのか具体的な課題を設定することができていた。 火災現場で働く消防士に着目させるために、消防署見学を行うことを伝え、消防士に対する聞き取り調査の計画を立てさせる。	☆具体的な課題設定ができていますので、資料で解決できる課題と見学等で解決できる課題を分類させながら調べさせていきたい。
調べて考える	③個の課題を追究する。 ◇自分の考えた調べる方法で追究させながら、課題解決につながる 資料を個別に提示 する。	・火の消し方は、消火栓とホースをつなぎ消火する。 ・夜に火事が起こってしまったら、消防士はどのように出発するのだろう。	□資料を活用して、急いで調べることができていた。火事が起きた時の消火の仕方について調べることができたが、夜に火事が起きたらどうするのかという新たな疑問をもつこともできていた。	☆ <u>火災現場で働く人に着目させ、消防士の仕事に対する思いや願いについて考えさせていきたい。</u>
	④消防署へ見学に行く。 ◇消防車や装備、消防署内の施設、訓練の様子等を 実際に見たり 、消防士の仕事について 話を聞いたり できる見学にする。	・消防士は11時ごろから寝て、たとえば12時でも出動して助けに行く。 ・訓練では壁をつたって降りたり、はしごをかけて人を助けたりしていた。 ・助けられる人も真剣だし、助ける人も一生懸命なんだと思った。	□消防士は何時でも火事が起きれば出動することを知り、訓練の様子からは、はしごを使ってビルの中への救助方法を見学する。見学活動を通して、消防士の命をかけて仕事に取り組む姿が印象に残った。 学校では副校長や主事さん、地域では消防団長や地域で働く人への聞き取り調査を設定し、人とかかわりを深めさせる。	☆ <u>働く人に着目させたことで、仕事に取り組む姿に共感することができていた。「人」とのかかわりを通して、地域に対する誇りや愛着を高めていきたい。</u>
まとめる	⑤校内の消防設備について調査し、防火責任者である副校長の話を聞く。 ◇学校を火災から守るために行われている工夫について、 消防設備を調査 したり、 防火責任者の話を聞いたり する活動を取り入れる。	・各教室に火元責任者の赤いプレートがあった。 ・階段の近くに消火器が多い。 ・どこにも火災を防ぐものが多い。	□目的に取り組む、手帳を火災から守るための工夫について考えることができていた。 地域を火災から守るために、人とかかわりだけでなく、ものやことのかかわりとして、地域の消防設備の調査から考えさせる。	☆火災から守るためには、様々な工夫とそれに携わる人によることを理解していきたい。
	⑥地域の消防団の人から、消防団の役割について話を聞く。 ◇地域に住む人や、働く人が中心となって地域を火災から守る工夫や努力について 話を聞く 場を設定する。	・消防団は年々女性も増えている。 ・400年も前から火を消す集団のようなものがあつた。 ・地域の人も一緒になって地域を守っているんだと思った。	□地域を火災から守るために、消防士だけでなく地域一帯で取り組んでいることを理解することができていた。	☆「人」とのかかわりを通して、 <u>地域に対する誇りや愛着が高まっているので、地域の調査活動を通してさらに高めていきたい。</u>
広げる	⑦地域の消防設備について調査する。 ◇地域を火災から守るために、取り組んでいる工夫や努力について理解させるために、 消防設備の調査活動 を取り入れる。	・芝浦の道路には、火事が起きても大丈夫なように工夫がしてある。消火栓の看板には広告がついていたが、消火器にはついていない。	□地域の消防設備に関する調査を行い、マップに分かりやすくまとめることができていた。 地域を火災から守る人々に対しての自分は思ったのか整理させ、自分ができることは何か考えさせた。	☆地域の「人」「もの」「こと」のかかわりを通して、学習してきたことをまとめさせるようにしたい。
	⑧地域を火災から守るために調べて考えたことを新聞にまとめる。 ◇調べて考えたことを 新聞にまとめ させる。	・消防署では、芝浦を火事から守るために24時間体制の3交代制で、寝ていても火事が起きたらとび起きてすぐ出動する。 ・消防署だけでなく、地域の人も火事を防いでいる。	□消防署だけでなく、地域の人々も理解し、地域に対する誇りや愛着がさらに高まっていた。	☆ <u>地域に対する誇りや愛着が高まったことで、自分なら何ができるのか考えさせ、火災0プランを提案させたい。</u>
広げる	⑨自分たちにできる防災活動について話し合い、「芝浦火災0プラン」を計画し、提案する。 ◇ 自分たちにできることを考え、提案する場を設定 し、地域一員であるという自覚を深めさせる。	・地域の人々が消防士や消防団のことを知っている人が少ないからと考え、火災プランを計画する。 ・火を消すために、消防士さんの努力や消防士と消防団の違いについて提案する。 ・火を消したのかチェック表を活用して、毎日の生活を心掛ける提案をする。	□消防団長の話をきっかけに、地域を火災から守るのは、消防士だけでなく、多くの人々によつての工夫や努力があることに気付いていた。また、消防士や消防団の人だけでなく、自分たちにできることとして、防災チェック表を作成し、提案することができていた。	☆ <u>地域のために働く人に対する誇りや愛情から、自分が地域に働きかけることについて考えることができた。</u> 次時以降についても、地域に働きかける視点をもたせ学習に取り組ませる。

補助資料4 「火災を防ぐ」児童の学びの姿分析表 観察対象B児

学習過程	○主な学習活動 ◇具体的な指導の工夫	・児童の学びの姿	□教師による評価	☆次時へつなげる支援
事前	○「地域」と聞いて想像できることを書く。	・マンション ビル 小学校 お店 お祭り 運河 商店街	□地域の「もの」「こと」から特色を把握している。	☆学習を通して <u>地域の「人」とのかかわりを通して、地域に対する誇りや愛情をもたせたい。</u>
つかむ	①芝浦の地域で火災が起きたら、誰がどのようにして、人々の安全を守るのか予想を立てる。 ◇火災時の <u>映像資料や写真資料を提示</u> し、火災に対する恐ろしさを実感させる。 ◇地域の特色が分かる <u>写真資料を提示</u> し、地域で火災が起きた時、どのような消火活動が行われるのか <u>予想させる</u> 。	・マンションで火事が起きたら住んでいる人が消防士を呼んで消す。 ・運河が火事になったら、運河の水を使って消す。 ・高いビルが火事になったら高い所は、はしごを使って消す。	□地域の特色が分かる写真を提示したことで、地域で火事が起きたらどのような消火活動が行われるのか、具体的に予想することができていた。	☆社会科学学習に対して苦手意識（担任への聞き取り調査から）をもっていることから、学びのよさを見付け、学習に対して意欲的に取り組めるようにしていきたい。
	②自分の知りたいことをノートに書き、調べていくことを話し合い、学習問題を設定する。 ◇地域で火災が起きたら大変だという思いを改めて実感させるために、高層ビルで起こった <u>火災の事例を提示</u> する。 ◇自分の知りたいことをカードに書かせ、 <u>カード分類法で課題をカテゴリー化</u> し、学習問題を設定する。	・一番火が出やすいものは何か。 ・消防士はなぜ人の命を守りたいのか。 ・火事を防ぐために、どんな対策を立てているのか。 地域の消防士の仕事に対する思いに触れたことから、具体的な課題が設定されたので、消防署見学を通して、課題を解決できるように計画を立てさせる。	□火災の映像や写真の提示から、火災の恐ろしさを実感したことと、消防士の仕事に対する自信とのずれから、なぜ危険の中、人の命を守るのか疑問をもっていた。また、火災に対する対策は何かあるのか疑問をもち、課題を設定することができていた。	☆消防士の仕事に対する思いについて考えさせるために、どのような仕事に取り組んでいるのか資料を通して追究させていきたい。
調べて考える	③個の課題を追究する。 ◇自分の考えた調べる方法で追究させながら、課題解決につながる <u>資料を個別に提示</u> する。	・火事の原因の一番多いのは放火であった。 ・どんな訓練や対策を立てているのか、消防士の気持ちなどを見学で聞いてきたい。	□資料を活用して、火事の原因について調べることができている。消防士はなぜ人の命を守りたいのかについては、資料では調べることができなかったため、見学時に取材できるように促した。	☆消防士はなぜ人の命を守りたいのかという、「人」に着目した課題を設定しているので、 <u>見学時に訓練の様子やインタビューを通して考えを深めていきたい。</u>
	④消防署へ見学に行く。 ◇消防車や装備、消防署内の施設、訓練の様子等を <u>実際に見たり</u> 、消防士の仕事について <u>話を聞いたり</u> できる見学にする。	・訓練には必ず声かけをする。 ・消防士さんは、どんなところでも助けに行き、命を粗末にしないように、がんばると言っていた。 ・消防士さんが人助けをするために力をつけるのは、力をつけてどんな物でも持ち上げて助けに行くと言っていた。	□消防士の訓練の様子から、命がけで仕事に取り組む消防士の思いに共感することができた。 消防士の仕事に対する思いに共感したことで、自分にできることは何か考えていることを見取る。身の回りのことから自分にできることを考えさせる。	☆消防士の仕事に対する思いに共感したことで、地域に対する誇りや愛着をもち始めてきているので、 <u>自分なら何ができるのか考えさせていきたい。</u>
	⑤校内の消防設備について調査し、防火責任者である副校長の話を聞く。 ◇学校を火災から守るために行われている工夫について、 <u>消防設備を調査</u> したり、 <u>防火責任者の話を聞いたり</u> する活動を取り入れる。	・学校には消火器、消火栓がたくさんあった。みんながどこで火事になっても大丈夫なように工夫していることが分かった。	□学校の消防設備について、どこに何があったのか調べることができていた。しかし、事実のみにとどまってしまう、考えを深めることができなかった。	☆「人」とのかかわりを通して学習意欲が高まっていたので、次時では、 <u>地域の消防団の人とのかかわりを通して地域と自分とのかかわりを深めていきたい。</u>
	⑥地域の消防団の人から、消防団の役割について話を聞く。 ◇地域に住む人や、働く人が中心となって地域を火災から守る工夫や努力について <u>話を聞く</u> 場を設定する。	・消防団は女の人も入っていた。消防団は、みんなを火事から守るためにいろいろな仕事をしていることが分かった。	□消防団の役割については理解することができていたが、地域と自分とのかかわりは深めることが十分ではなかった。	☆地域と自分とのかかわりを深めるために、地域の消防設備を通して、 <u>地域を火災から守る工夫について考えさせていきたい。</u>
	⑦地域の消防設備について調査する。 ◇地域を火災から守るために、取り組んでいる工夫や努力について理解させるために、 <u>消防設備の調査活動</u> を取り入れる。	・人の集まる所には、必ず消火栓が置いてあった。 まとめの新聞において、消防士の思いに共感したことで、自分にできることを、消防士の努力を多くの人に知らせたいという思いを地域の人に提案させる場を設定した。	□地域の消防設備の調査は意欲的に取り組み、地域マップに分かりやすくまとめることができていた。	☆消防署の見学や地域の消防設備の調査を通して地域を火災から守る工夫について調べることができていたので、そのことを新聞にまとめさせていきたい。
まとめる	⑧地域を火災から守るために調べて考えたことを新聞にまとめる。 ◇調べて考えたことを <u>新聞にまとめ</u> させる。	消防士の人はなぜ人の命を守りたいのだろうと思って調べました。消防署に行って調べてみると、その気持ちが分かるようになりました。今度は、わたしにできることは何かについて考えていきたいと思います。	□消防士の命がけで仕事に取り組む姿に共感したことを新聞にまとめ、自分にできることは何か考えようとしていた。	☆ <u>自分にできることは何かについて考えさせ、考えた防災プランを提案できるようにしていきたい。</u>
広げる	⑨自分たちにできる防災活動について話し合い、「芝浦火災0プラン」を計画し、提案する。 ◇ <u>自分たちにできることを考え、提案する場を設定</u> し、地域一員であるという自覚を深めさせる。	・芝浦の火事をなくそう！ ～消防士さんの努力～ ①火事の原因からなくすために、自分たちにできる工夫 ②消防士さんの仕事に対する思い ③みんなを守るための訓練・対策	□消防士との出会いにより、火災から地域を守るために命がけで仕事に取り組む姿に感動したことを、伝える内容となっている。また、消防士だけでなく、自分たちにできることは何か考えて提案することができていた。	☆ <u>消防士の命がけで仕事に取り組む姿に感動したことで、学習意欲の高まりとともに、地域へ誇りや愛情を育てることができた。</u> 社会の学習に対して苦手意識をもっていたB児に対しては、 <u>地域で働く人等、人とかかわりを通して学習を展開していくことが効果的であると考える。</u>